

文部科学省の今後の主な取組について

2024年4月17日

観光立国の実現に係る文化芸術分野での主な取組

海外向けのコンテンツ発信やアーティストが海外で活躍するための支援等を通じて、文化芸術を目的としたインバウンドの増加を目指す。

国際的なアートフェアの誘致等の拡大

■ 令和5年11月、日本の現代アートを国内外に発信する「アートウィーク東京」（※令和5年参加者数4.3万人）において、展示作品を購入できる「買える展覧会」の初開催を支援し、6日間で、54億円の経済波及効果。

■ 引き続き、日本のアート市場拡大、世界のアート市場における我が国のシェア倍増を目指し、我が国がアートの国際拠点として成長することに資する取組を進める。



アートウィーク東京
(買える展覧会「AWT FOCUS」)

活字コンテンツの海外展開支援

■ 令和5年10月、世界最大の国際ブックフェアであるフランクフルト・ブックフェアにおいて、芥川賞作家の村田沙耶香氏の講演など世界に向けた日本の書籍のプロモーション支援を実施。

■ 令和6年度は新たにマンガの海外展開支援にも取り組むこととしており、我が国の多様で豊かな活字文化の海外向け発信に引き続き取り組む。



フランクフルト・ブックフェア
日本ブース

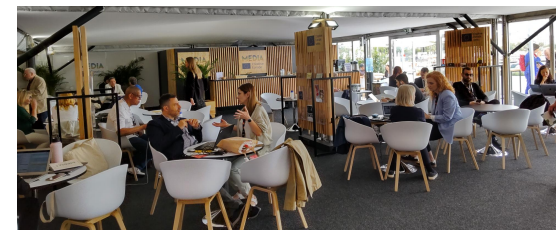


村田沙耶香氏による
講演

海外展開を含むクリエイター・アーティストの育成支援

■ 令和5年度補正予算において、海外展開を含むクリエイター・アーティスト等の育成や文化施設の機能強化を、弾力的かつ複数年度にわたって支援する基金を初めて造成。

■ 順次、公募を開始しているところであり、本基金を活用してグローバルに活躍出来るクリエイター等の育成や文化施設の機能強化を推進する。



海外展開先イメージ
(カンヌ国際映画祭カンファレンス)

海外展開先イメージ
(アヌシー国際アニメーション映画祭)



- スポーツの参加や観戦を目的とした地域の訪問や、地域資源とスポーツを掛け合わせた観光を楽しむスポーツツーリズムの推進を通じ、国内旅行需要の喚起や外国人旅行者の訪日促進を図る。訪日外国人旅行者ニーズの高い日本発祥の武道等を活用したコンテンツの開発に取り組む。
- VIPルームでのスポーツ観戦や関係者との交流会等スポーツ観戦を高付加価値化するスポーツホスピタリティサービスの創出支援に取り組む。
- 大規模な国際スポーツ大会の円滑な実施や大会を通じたインバウンド需要の回復に資する支援に取り組む。

スポーツツーリズムコンテンツの創出を推進

日本の特色ある自然・文化等を活かした、重点分野の「武道」を中心にテーマ別に実証モデルを選定、実施する(令和5年度は6件実施)。また、武道について、訪日外国人観光客獲得のための武道フェアを実施する。

取組例

武道ツーリズム

剣道、弓道、居合道等の体験



武道フェアの様子



アウトドアスポーツツーリズム

多彩な海岸地形を活かしたトレッキングを体験



スポーツホスピタリティサービスの創出を支援

スタジアム・アリーナ改革の一環として、VIPルームでの観戦等スポーツホスピタリティサービスの創出を支援するため、必要な知見やノウハウを集約したガイドブック・手引きを作成する。



今後、国際スポーツ大会が連続して国内で開催

2024年

世界パラ陸上競技選手権大会(5月 神戸市)
※2022年から再延期)

2025年

世界陸上競技選手権大会(9月 東京都)
第25回夏季デフリンピック競技大会(11月 東京都)

2026年

第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会
(9-10月 愛知県・名古屋市)

2027年

ワールドマスターズゲームズ2027関西
(※2022年から再延期)

(※)赤字下線の大会は、政府として協力する旨の閣議了解済み

国際学会の積極的な開催・誘致について

- 科学技術・イノベーション分野において国際連携は必要不可欠。
- そのため、国際会議や学会等を用いた研究者間のネットワーク構築が重要。

○研究者間の国際ネットワークの構築

- 戦略的な国際共同研究などを通じ、若手研究者が、国際的に活躍できる環境・ネットワークを醸成
- 海外の学術振興機関と共同してセミナーやワークショップの開催などを支援することで、研究者間の国際交流を促進



主な施策の進捗状況（2024年4月時点）

先進国との国際共同研究を支援する事業（ASPIRE）においてR5年度、52件の採択を行い研究を開始。

今後の取組の方向性

今後、公募の準備を進めつつ、更なる幅広い同志国とのネットワーク構築を推進。



○国際会議誘致・開催支援の推進

- 日本国内で主催する国際シンポジウム・国際学術講演会等の開催費用の支援や当該メニューの周知なども含めた文部科学省と観光庁・JNTO等との情報共有等、一層の連携。



主な施策の進捗状況（2024年4月時点）

国際的なシンポジウムや学術セミナー等の開催を13件支援するとともに、観光庁・JNTOと連携し、大学に対して国際会議誘致の支援策の情報周知を実施。

今後の取組の方向性

今後のセミナーの開催支援の調整を進めるとともに、開催意欲のある研究者等を支援するため、観光庁・JNTOと連携して支援策を周知。

